

早稲田大学審査学位論文
博士（人間科学）
概要書

オンライン大学の学生の自己調整学習とその支援方法
Self-Regulated Learning and Its Support for Students
of Online University

2019年1月

早稲田大学大学院 人間科学研究科

石川 奈保子

ISHIKAWA, Naoko

研究指導教員： 向後 千春 教授

論文概要

本論文は、eラーニング制大学通信教育課程（以下、オンライン大学）の学生が卒業まで学習を継続できることを目指し、自己調整学習スキル向上のための支援方法を明らかにするものである。本論文は、以下の二つから構成される。一つ目はオンライン大学の学生の自己調整学習の調査（第2章）、二つ目はオンライン大学の学生に対する自己調整学習の支援（第3章）である。

第2章（研究1～研究3）では、オンライン大学の学生の自己調整学習について調査した。研究1では、自己調整学習方略全般の使用状況と方略同士の影響関係について検討した。自己調整学習方略として、「Ⅰ学習方法を振り返る」「Ⅱ学習を工夫する」「Ⅲ大学の友人にたずねる」「Ⅳ学習計画を立てる」「Ⅴ自分にご褒美を与える」の5因子が抽出された。また、「Ⅰ学習方法を振り返る（メタ認知的モニタリング）」からそのほかの方略への影響が確認された。これにより、オンライン大学の学生には、メタ認知的モニタリング方略の使用を促すことで、自己調整学習のサイクルに誘導できることが示唆された。研究2では、オンライン大学での学習継続に重要とされる援助要請に着目した。メンター（本研究では「教育コーチ」）や大学の友人との交流の有無が学習のつまずき対処と自己調整学習にどのように影響を及ぼしているか検討した。その結果、ゼミに所属している場合、学習の相談ができる学友がいる学生は援助要請することでつまずきを解消し、そういった学友がいない学生は援助要請しない傾向があった。そして、ゼミへの所属の有無にかかわらず、学習の相談ができる学友がいる学生は、より多くの自己調整学習方略およびつまずき対処方略を使用していた。以上のことから、オンライン大学での学習継続においてメンターや学友との交流が重要であることが、自己調整学習方略使用の側面から裏づけられた。研究3では、研究2で援助要請の質についての検討が不十分であったことを踏まえ、つまずき対処方略尺度改訂版を作成し、教育コーチへの援助要請態度がつまずき対処にどのように影響しているのかを検討した。その結果、教育コーチに対する援助要請態度として「躊躇」^{ちゆうちゆう}「失敗回避」が見出され、援助要請を失敗回避と考えている学生は、よ

り依存的に援助要請をする傾向があることが示された。

第3章（研究4，研究5）では，基礎教育科目において学生に自身の学習過程に注目させるメタ課題を導入し，自己調整学習スキル向上に対する効果を検討した。研究4では，基礎教育科目にポートフォリオタイプのメタ課題を実施した前後でのメタ認知的気づきスキル，自己調整学習方略の変化から，メタ課題の効果および改善点を検討した。その結果，メタ課題の効果は，モニタリングスキルの向上に加え，「今後どのようにするか」について記述することでコントロールスキルの向上も期待できることが示唆された。また，改善点として，学習方法に関するこれまでの考え方や行動についての振り返りに基づいて「今後どのようにするか」まで記述するよう明示することが挙げられた。研究5では，メタ課題を受講生がどのように利用し，認知したかを明らかにすることで，メタ課題の効果および改善点を検討した。その結果，メタ課題が，学習内容を振り返ったり整理したりする機会になったと感じた受講生が多かった。そして，メタ課題に自分の経験について書く傾向があった受講生にとっては，メタ課題は自分の学習に役立ったり新しい発見があったりしたと感じたツールであった。メタ課題に自分の経験についてほぼ必ず書いていた受講生は，設問への直接的な回答だけでなく，自分の学習ニーズについてモニタリングしたり，コントロールとしてスキルアップのための目標設定について言及したりしていた。これにより，メタ課題の改善点として，経験を踏まえた振り返りに基づいて考え方や行動の変化について記述するよう明示すべきであることが示唆された。

以上の分析から，経験を踏まえた省察を促すメタ課題は，成人学習者であるオンライン大学の学生の学習スキルを向上させ，卒業まで学習を継続させるために有用であると考えられる。メタ課題による自己調整学習の支援をさらに充実させるための留意点としては，(1)成人学習者としての特徴を踏まえた課題内容にする（自分の経験を踏まえて省察する，省察を踏まえた考え方や行動の変化について表現する機会を作る），(2)指示や意図を明確にする（自己調整学習スキルの重要性を何度も強調する，課題文では受講生にしてほしいことを具体的に指定する）の2点が挙げられた。